

科目名	福祉コミュニティ論	
担当者	河原 晶子 / KAWAHARA, Akiko	
科目情報	心理臨床<福祉臨床> / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 3年次	
科目概要	授業内容	ア prioriに「良いこと」とされている「福祉ボランティア」活動を科学する。ボランティアやNPOの活動に見られる政府・市場・市民の分担・協同と拮抗、現代社会における市民による福祉提供の位置づけ、「援助」的行為を考察する。
	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における福祉ボランティアの存在意味を理解する。 ・「援助－被援助」関係の社会的特性と普遍性を理解する。 ・NPOとNPO法人制度について基本的で正確な知識を獲得する。 ・日常生活の中に福祉ニーズをキャッチする感覚の重要性を理解する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> (1) 「福祉」の3つの源流について (2) 現代社会における福祉提供の仕組みとその変化 (3) 市民福祉やボランティア活動登場の背景と歴史 (4) ボランティア活動の量的・質的実態 (5) ボランティアとは誰か？ボランティアはどう「定義」されてきたか？ (6) なぜボランティア活動は「賞賛・称揚」されるのか (7) 援助活動のパターナリズムと「自立」要請の両立は可能か？ (8) 福祉ボランティア活動の多様性 (9) ボランティア活動の組織化 (10) NPO法人制度の活用 (11) NPO法人活動の課題とボランティア (12) ゲストスピーカーの特別講義（または「事例に学ぶ」） (13) 学校でのボランティア学習を科学する (14) ワークショップ－ボランティア学習を組み立てる (15) 総まとめ 	
自学自習	事前学習	新聞・TVでのボランティアやNPOのニュースに目を通しておくこと。
	事後学習	毎回、授業冒頭に前回授業の復習小クイズを行うので、よく復習しておくこと。
使用教材・参考文献	<p>【教】 使用しない。</p> <p>【参】 山岡義典編『NPO実践講座2一人を活かす組織とは』ぎょうせい2002年 三本松政之・朝倉美江編『福祉ボランティア論』有斐閣、2007年</p>	
成績評価方法と基準	<p><方法> 単位レポート80%/①新聞記事切抜課題10%/②アクションペーパー課題10%</p> <p><基準> レポートの内容・水準が到達目標に到達しているかどうかを重視する。</p>	
備考	<ol style="list-style-type: none"> ①毎回、ボランティアやNPO関連の新聞記事コピーにコメントを記して提出すること。 ②自身のボランティア活動やボランティア・イベント等への参加のミニレポートを提出すること。 	